

# 今年度のゼニガタアザラシ調査捕獲について（素案）

北海道地方環境事務所

## 1 目的

今後ゼニガタアザラシ保護管理計画を策定するために、個体数調整の効果や個体群への影響について検討する必要がある。

今年度は、検討の基礎情報として、個体数調整の実施可能性（どのような方法で捕獲が可能か等）について検証することを目的として調査捕獲を実施する。

## 2 実施主体

環境省（えりも漁業協同組合に委託することを想定）

## 3 基本的な配慮事項

捕獲方法を検討する上では、以下に配慮することが重要である。

- (1) ゼニガタアザラシの個体群の安定
- (2) 漁業被害が軽減されること
- (3) 観光や住民生活など、地域社会への影響が小さいこと
- (4) 動物の福祉への配慮
- (5) 捕獲によるゼニガタアザラシに関する知見の収集（捕獲個体の回収）
- (6) 法令の遵守（鳥獣保護法等）

## 4 捕獲方法

以下の捕獲方法を試行する。

### (1) 網による捕獲

#### ① 手法

あらかじめ仕掛けた刺し網に、和船を用いて岩礁にいるゼニガタアザラシを追い込み、溺死させないタイミングで、海上でできるだけ苦痛を与えない方法で止め刺し。個体は引き上げて回収。

#### ② 場所

えりも岬岩礁の周辺

#### ③ 時期

6月下旬～7月上旬

### (2) 銃による捕獲

#### ① 手法

##### a) 岩礁での捕獲

岩礁を見下ろすことができ、かつ、足場のよい場所から、岩礁上にいるゼニガタアザラシを射撃。射撃した個体は回収。

##### b) 海上での捕獲

漁船上で海上のゼニガタアザラシを銃により捕獲し、和船等により回収。

② 場所

えりも岬岩礁は、繁殖場になっていることと観光客等への影響があることから避ける。

③ 時期

7月上旬～

## 5 捕獲上限数

捕獲数は、銃、網それぞれ 10 頭程度（計 20 頭）を想定しているが、網による捕獲は、想定を超える個体数が捕獲されることが懸念されることから、捕獲上限を 40 頭とし、捕殺は 30 頭に抑えるものとする。

## 6 その他

捕獲方法、場所、時期の詳細は、天候等も考慮して、環境省と実施者（えりも漁業協同組合を想定）等の調整により定める。